

I、本園の教育目標

「いつもにこにこ元気な子ども」

- 1、健康でたくましい子どもに
- 2、だれとでも仲よくできる子どもに
- 3、しっかりと約束の守れる子どもに
- 4、あいさつのできる子どもに
- 5、自分で考えて行動のとれる子どもに

II、本園の自己評価の状況

◎目標を上回る ○目標に達する △目標に届かない

	評価項目	結果	取り組み状況 ○よくできている ×課題
1	幼稚園の運営について	◎	○新しい園舎になり、環境を生かした保育や行事のあり方を見直し、実施した ×園の教育を保護者の方へ伝える場の設定(各学期ごと保護者会を行う)
2	保育の在り方、幼児への対応	◎	○他クラスの子どもについても幼児理解を共有し、遊びが充実する環境を整えていった ×運動遊びや自然と多く関われるような戸外の環境設定の工夫
3	保育者としての資質・良識・適性	◎	○教員間での関係を密にし、報告・連絡・相談ができる関係性を保つようにしていった ×一人ひとりが抱える仕事量のバランスを考える 教材や教具を工夫して有効に使う
4	保護者への対応・守秘義務	◎	○必要に応じて子どもの様子を伝えることとともに、参観、個人面談、行事への参加を促し、相談やアドバイスを心がけた ×個別の指導内容の検討、
5	地域の自然や社会とのかかわり	○	○専門学校の学生、地域の高校生の保育体験の受け入れや地域のイベントにも参加した ×保幼小連携活動の充実
6	保育者の専門性に関する研究・研究への意欲・態度	○	○ヒヤリ・ハットの研修を行い、実際どのような場面で見られたか分析して、保育に生かした ×外部の研修の参加
7	地域における子育て支援	◎	○子育て広場の活動内容を工夫し、幼稚園での保育がどのようなものかを示す機会となるよう努めた ×利用者同士の関係や居心地のよい場を維持する等、地域に子育て支援事業をつなげる

IV、保護者評価の状況

◎目標を上回る ○目標に達する △目標に届かない

評価項目	結果	内 容
お子様について	◎	・新園舎を活用して活発に教育活動が展開され、その成果として、保護者が自分の子どもの成長を高く評価している。
園の運営について		・夏野菜の栽培や生き物を飼育するなどに取り組んではいたが、地域的に自然に触れ合う機会が不足しているため、一層の自然環境、自然体験活動の充実が課題である。
家庭との連携について		・1学期に試食会を取り入れ、保育参観、運動会、アート展、表現あそびなど保育を見る機会が増えた。しかし、教育方針を伝える場が少なかったため十分な説明を行うことが課題である。

V、総合的な評価結果

評価	理 由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価・保護者評価共に良い評価である。</li> <li>・遊戯室が整備され、クラス、学年の枠を超えて異年齢の遊びが活発に展開された。また、こども図書館で2学期から年中組、年長組で絵本の貸し出しを行い、子ども達も絵本に興味をもてたことは多くの賛意を聞くことができた。</li> <li>・新園舎になり室内の活動が充実したため、学年によって戸外にでる機会の減少傾向が見られた。反省を踏まえて、より一層園庭の活用を工夫し、戸外あそびの充実を図る。また、遠足のほかに園外保育を計画的に充実させる。</li> </ul>

A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった

VI、今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	・地域の自然や社会とのかかわりについて	・園内に自然があるが、栽培物とのふれあいを夏野菜だけでなく年間の栽培について工夫し実施する。また、地域社会とのかかわりについても近隣の保幼小に積極的にかかわりをもつ。
2	・家庭との連携について	・園の様子を知る機会を多く設定し、学期ごとに保護者会を行い教育方針について十分な説明を行う

VII、学校関係者評価委員の評価

学校関係者からは園の教育内容・園運営について高い評価課をいただいた。

《具体的コメント》

- ・新園舎も整い、しっかりとした教育目標をもち、子ども達の経験も豊かで、目標が十分に達成されており、お薦めしたい幼稚園として高く評価する